

平成 27 年度 事業報告書

コース	自主事業コース ・ 協働市民提案コース ・ 協働行政提案コース		
事業の名称	子ども観光大使 I N 倉敷		
実施団体名	倉敷子ども観光大使実行委員会		
市担当課名			
総事業費	297,609円	市の負担額	267,000円
事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。 観光立国の基本理念である「住んでよし、訪れてよしの国づくり」の実現のため、観光に対する興味や理解を教育の早い段階から促し、地域の魅力を発信できる担い手が必要であるとの認識に立ち、「子ども観光大使 I N 倉敷」の認定事業を実施する。2014 年度倉敷市児島で全 5 会場の子どもの観光大使教室を行った。2015 年はエリアを拡大し、倉敷市全域で 7 会場と子ども観光大使認定式を行った。 のべ 175 名の児童が参加した。毎回の会場の基本的な流れは以下の通りである。 見学 地域で有名な所を見学し、その土地の良さを現地で感じてもらえるようにする。 体験 地域で有名な所で物を作ったり、絵を描いたりして地域のよさを発見できる活動をする。 発信 地域の良さを様々な人に発信し、地域のよさを広げていけるようにする。発信手段としては、映像や絵、俳句などである。 検定 当日学んだことを 3 問の問題に答えることが検定である。 認定 検定問題で合格すると認定証が授与される。			
事業の成果 *平成 27 年度事業申込書に記載した「事業実施後の到達点」に対する成果を記入してください。また、実施した事業の詳細は「事業実施記録」に記入してください。 第一に、地域の良さを知ったり体験したりすることで、地域がより好きになったり誇りに思ったりする子どもが育った。郷土愛の醸成を図る機会となった。 第二に、親子のふれあいにより絆がより強くなった。原則、保護者同伴である。一緒に活動を楽しむことでふれあう体験がうまれていた。 第三に、地域が活性化させることができた。子ども観光大使のイベントにより、その地域に関係者が訪れ活性化した。また、子どもが地域の良さを発信することで地域に訪れてもらうきっかけを作ることができた。			
*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。 なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。			
			80 点

事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

(1) スタッフの不足

会場数が増えると、準備や当日の運営でスタッフの人手が必要になってくる。倉敷市子ども観光大使実行委員会は、実働部隊は7名程度である。当日のボランティアだけでも構わないので、人手があればよかった。今、岡山県にエリアを広げて24会場開催している。ますます人手が必要である。

(2) 集客

テレビ・ラジオや新聞等により、少しずつ子ども観光大使が市内に広まっている。しかし、まだ認知度は高いとはいえない。プレスリリースを行い、もっと参加者を増やしたい。

(3) 授業作り

地域の魅力を体験し、発信する子を育てるための授業作りが必要だと感じる。子ども観光大使を運営する実行委員会は、教師が中心である。「TOSS」という教員の団体である。授業づくりが研究の中心である。何会場か授業をつくり、実施した。子どもや保護者の反応がとてもよかった。「もっと知りたい。」というアンケートも多数いただいた。本業の学校の業務とのバランスをとりながら、授業づくりにも取り組んでいきたい。

(4) 子ども観光大使に認定された後の動き

現在、「子ども観光ガイド」という企画に取り組んでいる。観光地でガイドをする企画である。小学校高学年・中学生対象である。10月から12月まで3回計画で考えていたが、参加者がいずれも集まらず延期になっている。子ども観光大使に認定されたあと、どうするのか。活躍の舞台を作って提案したい。いまは、来年岡山で行われる全国大会への出場を計画中である。

事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施日時	実施内容	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数
9月20日 (日)	吉備真備(ふれあい囲碁体験) 1 開会式 2 吉備の真備 授業 3 まきび記念館 見学・質問 4 ふれあい囲碁 体験 5 写文俳句・映像発信 6 子ども観光大使検定 7 閉会式 修了証授与	真備記念館	講師2名 スタッフ8名	小学生18 名が参加 保護者13 名
11月7日 (土)	倉敷はりこ 1 開会式 2 授業 倉敷はりこ 3 倉敷はりこ作業所見学 4 年賀状を作って発信 授業 5 年賀状について 授業 6 観光大使検定 7 閉会式 修了証授与	健康福祉プラザ 倉敷はりこ生水さ ん宅	講師4名 スタッフ3名	小学生11 名が参加 保護者8名
11月22日 (日)	連島 歴史の宝物発見 1 開会式 2 連島の伝説 八十八ヶ寺な どのお話 3 フィールドワーク 4 写真俳句で発信 5 子ども観光大使検定 6 認定書授与	連島公民館	講師3名 スタッフ3名	小学生6名 が参加 保護者4名
12月12日 (土)	倉敷市子ども観光大使 認定式 1 開会式 2 倉敷市の授業 3 英会話でガイドの授業 4 スライドショー 5 認定証授与 6 子ども観光大使・誓いの言葉 7 閉会の言葉	芸文館	講師3名 スタッフ3名	32名認定 (うち12 名出席) 保護者10 名

収支精算書

(収入の部)

(単位:円)

項 目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)	0	0	
会費からの繰入金	90,500	30,609	
そ の 他	0	0	
市補助金	300,000	267,000	297,609 円 × 0.9 (千円未満切捨て)
合 計	400,500	297,609	

(支出の部)

(単位:円)

区 分	項 目	予算額	支出済額	主な支出の内訳
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	0	0	
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	40,500	0	
	謝 金 (講師等に支払うもの)	100,000	20,000	外部講師への謝金
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	0	0	
	消耗品費	150,000	66,740	コピー用紙、封筒、インク、文具等
	印刷製本費	50,000	41,685	資料、アンケート、チラシ印刷代等
	通信運搬費	30,000	91,445	郵送料(切手、メール便、レターパック)
	保険料	15,000	1,000	
	使用料, 賃借料	15,000	18,640	定例会、子ども観光大使当日の会場費
	委託料	0	58,099	
	小計	400,500	297,609	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費	0	0	
	食糧費	0	0	
	その他	0	0	
	小計	0	0	
合 計		400,500	297,609	

(記入上の注意)

予算額は申込み時に提出した様式第3号の内容を記入してください。